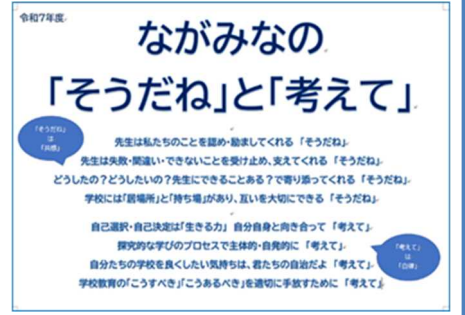


ながみнадより

令和7年10月10日 第15号



カラー版、掲載以外の写真は学校ホームページへ



東大阪市教育委員会のインスタアカウント(@higashiosaka.mirai.education)があるのはご存じですか？東大阪市立学校園の魅力ある取り組みを発信していますので、ぜひフォローお願いします。今はまだ、「ザ・おっさんの日常」の校長の個人アカウント(@kenstagram812)の方がフォロー多いので、僕の方が発信力ありそうですけど(笑)。

先日、校長先生が集まる場に行きました。そこで先輩校長先生が「なんか更にカジュアルな感じになったね～」と僕におっしゃいました(決して咎める感じでもなく、嫌味でもなく)。その日は運動会の練習があったので、Tシャツに短パン。うん、確かにカジュアルです(笑)。ロン毛も含め、自分が「人とは違う」自覚はあります。でも、こう見えて自分なりに考えて行動はしています。自分の頭で考えて、行動した場合は、結果はすべて自分で引き受けることになります。誰のせいにもできないですから、成功も失敗も、自分で引き受けるのです。人になんと言われようと気にならないのは、そんな考え方からです。



この夏に、鴻上尚史さんの著書「君はどう生きるか」に出会いました。とってもいい本で、読書が好きな親しい先生には紹介をしました。子どもたちにも中学生になったころに、ぜひ読んでほしい本です。

「みんな同じで、みんないい」学校と、「みんな違って、みんないい」学校はどっちが楽しそうでしょう。

多様性の時代だからこそ、同調圧力から解放され、子どもたちがいきいき・のびのびと過ごせる学校にしていかなければと改めて決心するきっかけになりました。やるぞ～！！

1. 学校に外の空気を入れる

ゲストティーチャーにお越しいただき、6年生がサイコロをベースに作図を学ぶ授業を体験しました。投影法をベースに書かれた問題を解いていくのですが、あ～でもない、こ～でもないと、意外に子どもたち楽しそうです。でも表情は真剣そのもの。内容は勉強でもアプローチを少し工夫すると、こんなにも子どもたちの興味関心を引き付けられる。私も勉強になりました。



2. 暑い日の休み時間

暑い日が続く、グラウンドで遊べる日がまったくなかった週。教頭先生が忙しい中、中休みを低学年、昼休みを高学年と分けて、冷房の効いた体育館で遊ばせてくれていました。そしてあふれた半分は校長室、ひまわり教室、そして担任の先生と教室などで、思い思いの場所で子どもたちは過ごしています。ながみなは日ごろから「子どもの居場所」作りに励んでおり、その成果はこんなところにも表れているのかも！？



3. 正しい肌感覚

八尾少年サポートセンターの方にお越しいただき、5年生が非行防止教室を行いました。「非行の入口」と言われる万引きをテーマに、人形劇をしていただき様々な学びがありました。ルールや法律、まだまだ小学生には難しいですが、肌感覚で「あっ、これ以上はあかん」と感じて、人として様々な場面で大事になる気がします。



4. 共に学び、共に育つ

2年生と5年生が合同で体育をおこないました。体育館を1つのフィールドにして、跳び箱・マット・筋トレなど様々な種目に挑戦します。絶対しんどいはずですけど、どこか楽しそうなのはなぜ？



5・15の春までみんなで育てる

9月の3連休初日、長瀬中のラグビー部の応援に行ってきました。現中3の部員は、全員がみな卒業生です。その子たちの引退試合ですので、応援しないわけにはいかないですね。試合会場で、たくさんの保護者の皆さんにもお会いでき、思いがけず良い1日となりました。いつもこんな校長のこと、嫌な顔せず相手していただき、大変嬉しく思っています！試合もナイスゲームでした！



6・子どもたちの「自治」にチャレンジしています

校長室で児童会役員(4~6年生)の皆さんとランチタイムミーティングをおこないました。この日のテーマは「ここが変われば、ながみはもっと面白くなる」です。やっぱり子どもならではの「みんなで遊びたい！」との意見が。校長はいじわるなので、「どんな遊びするの?」「それはみんな楽しめるの?」「どれくらい時間ほしいの?」と質問攻め。最後に「先生にやってもらうのではなく、児童会として自分たちで企画運営できるの?」と聞くと「やりたい!」とのことでした。これができれば自治なんですよ。先生方との交渉の窓口は校長。その校長を納得させられる答えを持ってくるか。先生方と相談しつつ、進めていく方法を模索してみたいと思います。



7・学びあいの自然発生

株式会社コノエさまにお越しいただき、4年生がネジの仕組みについて学びました。東大阪市のモノづくり体験教室の事業です。ネジについて学びながら、小さなロボットを作成するのですが、子どもたちは真剣そのもの。得意な子は自分の分を早く終わらせて、友だちのサポートをしていました。こういう輪が自然とできるのが、子どものいいところですね。「助けて!」って遠慮なく言える関係性だと安心ですよ。



8・言語化する力をつける

教育実習のまとめとして、研究授業を行いました。4年生2クラス合同で、鑑賞の授業です。図工で作った作品を互いに見せ合い、工夫したポイントを共有します。もはやICTは普通に使いこなせます。それよりびびりしたのが、「この作品のどこがいいと思った?」と校長が尋ねると、みんなしっかり言語化できるんですよ。子どもの感性恐るべし。



9・学校の外で学ぶ

4年生が社会見学に行ってきました。柏原市へ行き、ぶどう園(第一次産業)と大和川について学びます。暑さも心配されましたが、この日は比較的涼しい気候でした。安堂駅を降り、まずはぶどう園へ。たくさんのぶどうを前に「早く食べた〜い!」と子どもたち。はやる気持ちを抑え、生産者さんのお話を聞きます。どのように育てているか、種無しぶどうはどう作られるのかなど、子どもたちからも積極的に質問します。その後ぶどうを美味しくいただきましたが、生産者さんのお話を聞いているので、無駄が出ないように友だち同士声をかけながら食べている姿が印象的でした。その後、大和川のふもとまで行き、水害から町を守る工夫や、大和川の付け替え工事に奔走した中甚兵衛についても学びました。最後はお待ちかねのお弁当タイム。ぶどうをたくさんいただいたので、おにぎり程度でと指示をしていましたが、子どもの食欲を見くびってありました(笑)。柏原市役所のテラスをお借りし、楽しい昼食タイムとなりました。正直、子どもを学校の外に出すのは、手間も労力も必要です。でも、子どもたちの様子を見ていたら「やってよかったな」と感じます。またながみなの子は「やってよかったな」と感じさせてくれる子どもたちでもあります。これからも先生方と協力して頑張ります!

